

T-SOUL コンセプト

音楽がいっぱい だけど音楽だけじゃない そんな音楽祭は みんなの為のお祭りだ国分寺駅北口から東に続く「大学通り」の名称が表すように、国分寺は古くから学生さんで賑わう若者の集う街でした。街中にはライブハウスやジャズ喫茶が点在し、音楽好きが集まる街として知られた国分寺も時代や環境の変化により、若者たちの発表の場はしだいに狭められてきました。

若者がムーヴメントを起こし、既に日本の文化の一端とも呼べるストリートミュージシャンによる路上ライブ。彼等が人前で演奏する機会を求めている反面、活動の場は限られています。一方、街では人々の交流が徐々に希薄になりつつあり、T-SOULはアマチュアミュージシャンと街の『相互が求めるもの』をマッチングさせ、商店街の全面的な協力のもと、音楽を通して多くの人々が触れ合う機会を生み出すことで商店街に“まちの賑わい”を呼び戻し、併せて『国分寺にふさわしい音楽祭』として定着させることを目指しております。

こうして生まれたT-SOUL (Tokyo-Sounds Of Universal Lives の略) は年に1回開催され、回を重ねるごとに徐々に協力者も増えており、地元住民の方々の理解も得られるようになってきました。

地域に開かれた音楽祭として多くの方たちと楽しさを分かち合い、音楽を愛し、郷土を愛する多くの方々と共に音楽祭の環をさらに広げ、地域と市民の支える音楽祭として継続してゆきたいと思えます。T-SOULは感性豊かな聴衆層の成長と共に歩む音楽祭として地域の文化的土壌を醸成すると共に、“お祭り”として多くの市民が楽しみを共有し、地域に活力と夢をもたらすために努力してまいります。